

2015.03.13

福岡市西区・今津干潟のコガモ、オオハクチョウ

毘沙門山(びしゃもんやま)177m



和名はバンよりも大型であることに由来する。



オオバン(大鵞) クイナ科 L=39cm

額にはくちばしが延長したような「額板」があり、
繁殖期には額板とくちばしの根もとが赤くなる。足と足指は黄色くて長く、
幼鳥はからだの羽毛がうすい褐色で、額板も小さい。



バン(鵞) クイナ科 L=32cm

体長は60cmほどで、日本に渡来するシギでは
ダイシャクシギと並んで最大級の大きさである。
長い脚とくちばしが特徴で、全身の羽毛は褐色の細かいまだらもよう。



ハウロクシギ(焙烙鶺) シギ科 L=63cm

湖沼、河川などに生息し、冬季になると海洋にも生息する。
渡りは行わないが、北部個体群は冬季になると南下する。



カルガモ(軽鴨) ガンカモ科 L=61cm

日本語における命名由来は「小型のカモの意」である。



コガモ(小鴨)オス ガンカモ科 L=38cm

嘴は幅広く、和名の由来になっている。



ハシビロガモ(嘴広鴨)オス ガンカモ科 L=50cm

長距離を飛翔する鳥としては最大級で、身体が重いため、離陸時は助走を必要とする。鳴き声は大きく、「コォー」と鳴く。

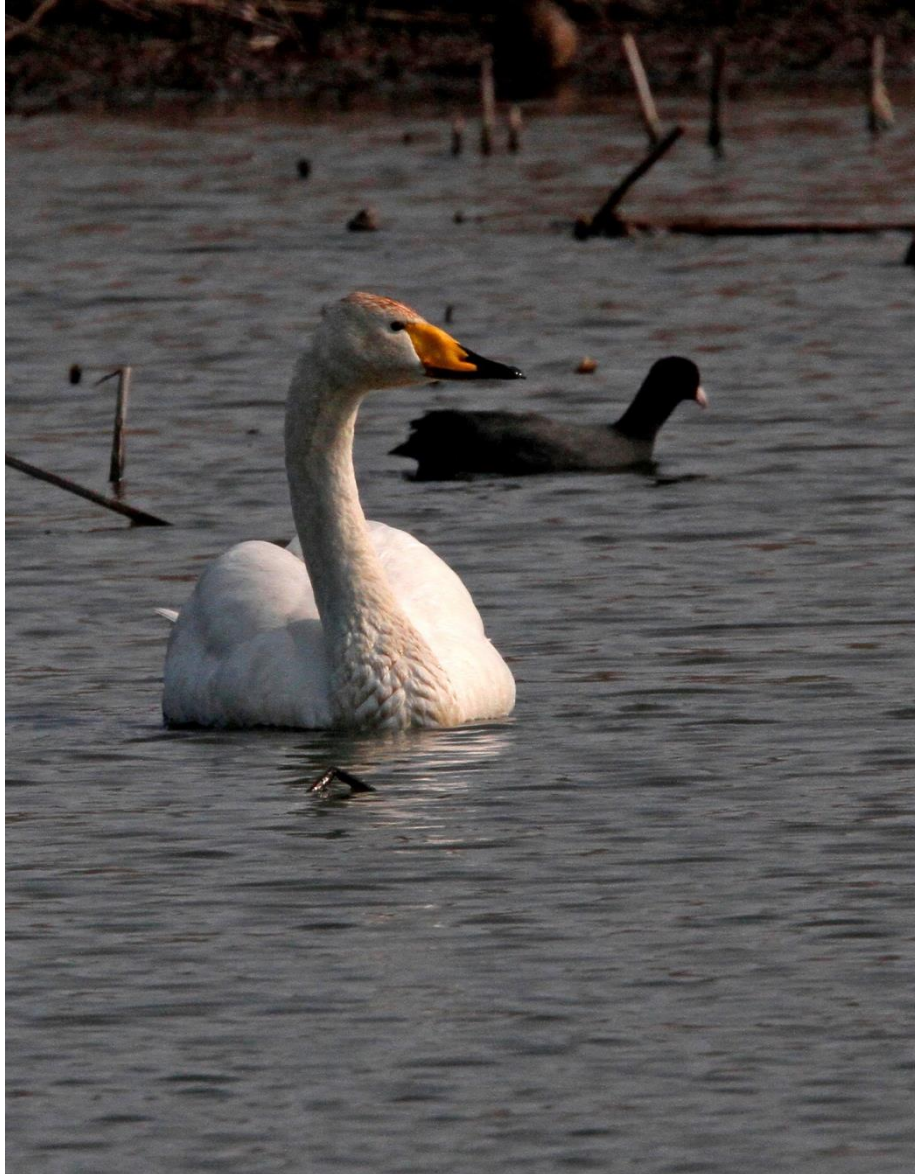


オオハクチョウ(大白鳥) ガンカモ科 L=140cm

シベリアやオホーツク海沿岸で繁殖し、
日本には越冬のため千島列島を經由し渡来する。



オオジュリン:アシ等の茎に縦に止まり、
葉の鞘を剥がし中にある昆虫類を捕食する。
また地上を跳ね歩きながら餌を採食することもある。



オオジュリン(大寿林)
ホオジロ科 L=16cm

体長は13.5-15.5 [cm](#)、体重13-20 [g](#)。[スズメ](#)よりわずかに小さい。
オスは頭上が白く、目の周りが黒いのが特徴である。
メスは頭が淡褐色でオスとは簡単に見分けられる。



ジョウビタキ(尉鶺) ヒタキ科 L=14cm



ハマダイコン(浜大根)アブラナ科



ホトケノザ(仏の座) シソ科